

◆ 学 位	学 位 名	教育学修士 神戸大学	法学士 慶應義塾大学
	取得方法	課程 平成2年取得	昭和62年取得
◆ 学 歴	大 学	慶應義塾大学法学部	
	大 学 院	神戸大学大学院修士課程教育計画論講座 名古屋大学大学院博士後期課程教育史講座	
◆ 学 内 職 務 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ FD 委員 ▪ 教職支援委員 など ▪ 教員養成カリキュラム委員 		
◆ 担当授業科目 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育制度論 ▪ 教育原論 ▪ 教職論 ▪ 教育社会学 など 		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<p>① 中学校・高等学校教諭普通免許状 (英語、東京都教育委員会、昭和62年取得)</p> <p>② 外部研究資金獲得、研究課題「徳義社の研究—日本の中学校起源に関する研究」平成9年4月～同10年3月、(財)日本科学協会・研究助成</p> <p>③ 外部研究資金獲得、研究課題「自由民権運動と中等教育に関する基礎研究」平成10年4月～同11年3月、(財)上廣倫理財団・研究助成</p> <p>④ 慶應義塾大学客員研究員 (平成10年～現在)</p> <p>⑤ 外部研究資金獲得、研究課題「日本の食育文化に関する基礎研究」平成15年4月～同17年3月、(株)am/pm ジャパン・委託研究</p> <p>⑥ 外部研究資金獲得、研究課題「自治体行財政改革関係職員研修プログラム開発研究」平成17年4月～同18年3月、静岡県下田市・委託研究</p> <p>⑦ 全国地方教育史学会常任幹事 (平成8年5月～同17年5月)</p> <p>⑧ 全国地方教育史学会第21回大会実行委員長 (平成10年5月)</p> <p>⑨ 和歌山県教育委員会「県教育史編纂事業」編纂委員 (平成12年7月～同22年3月)</p> <p>⑩ (株)文化放送「学習環境支援共同プロジェクト」委員 (平成14年4月～同16年3月)</p> <p>⑪ 文部科学省「小規模市町村教育委員会広域化モデル事業」関連検討会議委員 (平成15年4月～同18年3月)</p> <p>⑫ 教員免許更新講習実施委員 (平成22年～現在)</p> <p>⑬ 和歌山県教育委員会「組織横断的ビジョン創出会議」委員 (平成23年9月～同24年3月)</p> <p>⑭ 明治大学客員研究員 (平成28年～現在)</p> <p>⑮ 現在、公益財団法人(育英事業)評議員や公立博物館協議会委員などを兼務しながら、社会貢献に微力を尽くしている。また、本年度も引き続き、「毎日新聞」にて論説・コラムを連載中 (平成24年4月～現在) である。</p> <p>☆なお、競争的資金等の研究課題や研究実績の詳細は、インターネット上の researchmap で紹介する。したがって以下では、各項目につき5～6点のみ表示する。</p>			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
日本教育文化史	地域史	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育ベンチャー ▪ 働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 学校経営 ▪ 地域振興
◆ 研究概要	<p>幕末維新から明治前期における教育ベンチャーの研究</p> <p>江戸時代の私塾経営に関する研究</p> <p>教師の働き方改革に関する歴史研究</p> <p>地域振興と博物館に関する歴史研究</p> <p>福沢諭吉門下生と地域振興に関する研究</p>		
◆ 主要著書			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 『新版 子どもの教育の歴史』 	共	平成20年3月28日	名古屋大学出版会

▪ 『慶應義塾史事典』	共	平成 20 年 11 月 8 日	慶應義塾大学出版会
▪ 『(コア) 日本史学習指導書』(文部科学省認可通信教育指導書)	単	平成 21 年 2 月 1 日	玉川大学通信教育部
▪ 『和歌山県教育史』第 1 巻～第 3 巻	共	平成 18 年 3 月 31 日～ 平成 22 年 3 月 31 日	和歌山県教育委員会
▪ 「教育社会学—コミュニティ・スクールの展開」(『現代社会への多様な眼差し』)	単	平成 29 年 3 月 30 日	晃洋書房
◆ 主要論文・研究報告書等			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 「福澤諭吉が紀伊徳川家へ提言した近代教育戦略」	単	平成 22 年 11 月 1 日	慶應義塾『三田評論』第 1139 号
▪ 「教育ベンチャーの季節」	単	平成 25 年 12 月 20 日	(一般社団法人) 福澤諭吉協会『福澤諭吉年鑑』第 40 号
▪ 「地方教育史研究の今日的意義」	単	平成 27 年 5 月 16 日	全国地方教育史学会『地方教育史研究』第 36 号
▪ 「伝統校に学ぶ学校改革成功の秘訣—耐久学舎における宝山良雄の戦略—」	単	平成 28 年 9 月 25 日	四天王寺大学『教育研究実践論集』第 2 号
▪ 「福澤諭吉門下生海老名晋の遍歴(2)—働き方改革のヒント—」	単	平成 30 年 3 月 20 日	(一般社団法人) 福澤諭吉協会『福澤手帖』第 176 号
◆ その他			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 基調講演「『克己』の型を考える—華岡青洲 VS 福澤諭吉」	単	平成 26 年 3 月 8 日	羽曳野市・羽曳野市教育委員会・四天王寺大学共催: 公開シンポジウム「己に克つ」
▪ 講演「地方公文書館所蔵資料から見た地方教育史研究の課題」	単	平成 26 年 5 月 18 日	全国地方教育史学会(於、早稲田大学)
▪ 講演「浜口梧陵と福澤諭吉のコラボレーション」	単	平成 27 年 8 月 22 日	和歌山県広川町・稲むらの火の館
▪ 講演「今、華岡青洲の複線型人生に学ぼう—1 億総活躍社会への示唆—」	単	平成 28 年 2 月 20 日	和歌山県紀の川市・華岡青洲顕彰講演会
▪ 審査員「第 64 回 慶早新人弁論大会」	共	平成 28 年 6 月 25 日	慶應義塾大学弁論部・早稲田大学雄弁会(於、三田演説館)
▪ 「松下幸之助シンポジウム」コーディネーター兼パネリスト	共	平成 28 年 12 月 17 日	明治大学駿河台キャンパス・アカデミーホール(主催: 和歌山県・明治大学、後援: パナソニック株式会社・PHP 研究所・松下政経塾・毎日新聞社)